

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

愛知県議会では、来年度予算案等の審議を行う2月度定例議会も間もなく閉会を迎えますが、来年度の県税収入見込みは企業の通期業績予想等を踏まえ、一定程度の増が見込まれるものの、医療・介護等の扶助費や公債費が確実に増加する見込みであり、依然として厳しい財政運営を強いられています。

従って、行財政改革をこれまで以上に推進すると同時に、県内経済を如何に活性化させるかが最重要課題であり、産業空洞化対策を中心に今後も官民が一体となって取り組めるよう提言してまいります。

また、予算案の審議過程において、県議会では本会議において来年度施策に対する質問機会が与えられていますので、今回は私が行った微小粒子物質（PM_{2.5}）に対する質問についてご紹介させていただきます。

皆様ご存知の通り、現在PM_{2.5}に対する注目が高まっていますが、中国では現在PM_{2.5}による深刻な大気汚染が続いており、西日本を中心に我が国への越境汚染が懸念されています。

県内では現在市内4ヶ所を含む25測定局において24時間連続測定しており、現時点では直ちに影響があるレベルにはありませんが、春先から初夏にかけて、黄砂と共に大量に飛来するとの予測もあります。

また一部研究では、PM_{2.5}がスギ花粉と結びつく事により、更に微小な物質に変化する可能性も指摘されており、早急な対策を行う必要があります。

従って、質問を通じて県としての情報提供体制の確立を提言した所、幸いにして今月9日より、愛知県では国の暫定基準に基づく注意喚起等の情報提供をスタートいたしました。黄砂の飛来はこれから本番でありますので、外出の際には是非ご注意ください。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 